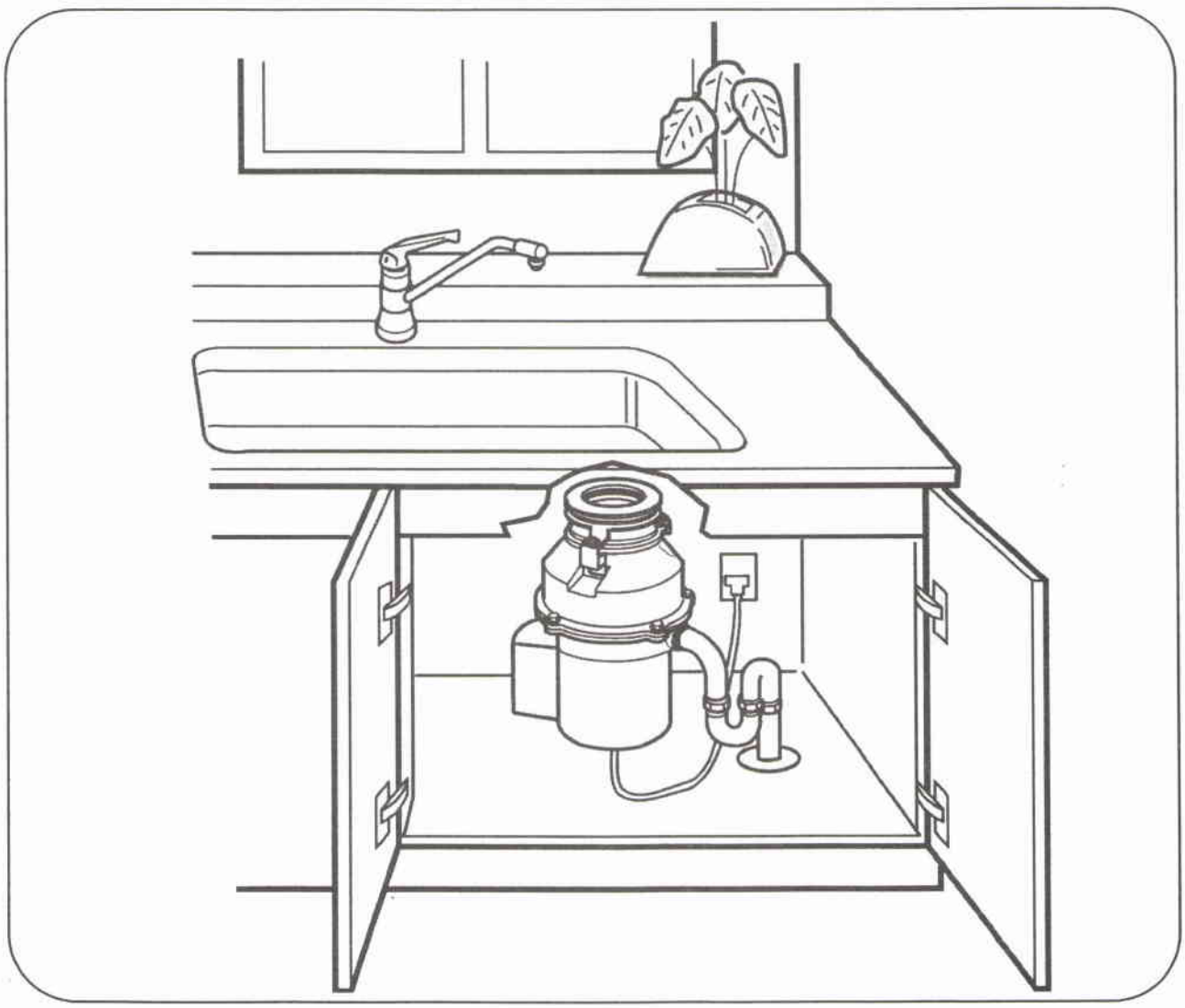
# ディスポーザー

型名　YD200BA（自動給水タイプ）

# 取扱説明書

保証書付



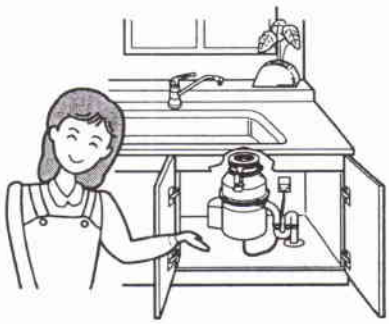
このたびは安永ディスポーザーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書には保証書が付いていますので、大切に保管し必要なときにお読みください。

Yasunaga

# もくじ


ページ

- もくじ …… 1
- はじめに …… 1
- 安全上のご注意 …… 2
- ご使用の前に …… 4
- 正しくお使いいただくために …… 5
- 各部の名称とはたらき …… 6
- ご使用方法 …… 7
- トラブル解決方法 …… 10
- 異物が噛みこんだ場合の復旧方法 …… 11
- 噛みこみ解除工具の使用方法 …… 12
- お手入れ方法 …… 13
- こんなときは／故障かなと思ったら …… 14
- 仕様 …… 15
- 保証について …… 15

# はじめに

ディスポーザーは、家庭で出される生ごみを粉砕し、水とともに排水管に流し出す装置です。

ディスポーザー単独での使用はできません。
専用合併浄化槽や生ごみ排水対応下水処理槽との併用でのみ使用できます。

# 安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用前に必ずよく読んだ上で、正しくお使いください。
ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |
| ⚠ | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |

## ⚠警告

⃠

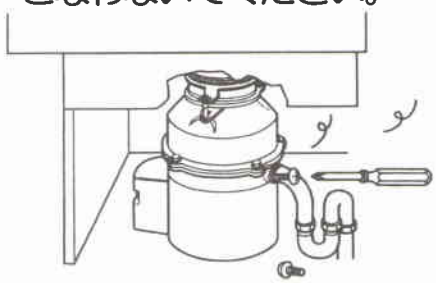
●電源コードを破損するようなことはしないでください。

（改造する、傷つける、ねじる、引張る、熱器具に近づける、はさむなど）

感電・ショート・火災の原因になります。
電源コードの修理・改造・固定は工事店に依頼してください。

⃠

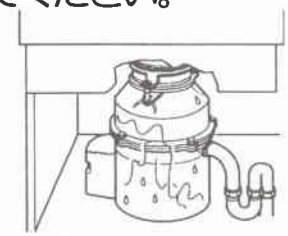
●分解・修理・改造は絶対におこなわないでください。



火災・感電・ケガの原因になります。
修理は工事店に依頼してください。

⃠

●本体やコード類をぬらさないでください。



漏電・感電の原因になります。

⃠

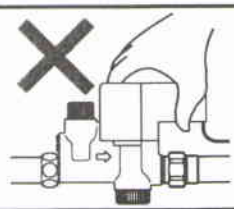
● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電の原因になります。

⃠

●電磁バルブの分解・修理・改造は修理技術者以外の人は絶対におこなわないでください。

火災・漏電・感電・ケガの原因になります。
修理は工事店に依頼してください。



# 安全上のご注意つづき （必ずお守りください）

## ⚠警告

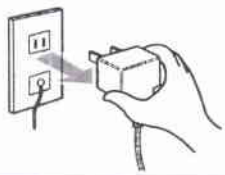
●本体側面下部にある焼損防止器の赤ボタンを、テープなどで固定しないでください。
（モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。）
●焼損防止器の赤ボタンを操作する時は、本体に手を触れないでください。
（高温になっている場合があり、やけどの原因になることがあります）

●粉砕音がする間は、フタを抜かないでください。
・粉砕物が飛び出してケガの原因となることがあります。

## ⚠注意

●フタには磁石が内蔵されています。
・フロッピーディスク・時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないようにしてください。
・金属が付いた場合はきれいに取り除いてください。

●異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認してからおこなってください。



粉砕部内のハンマーなどで手にけがをする原因になることがあります。

●モーターに直接手を触れないでください。

運転直後は高温になっているため、やけどの原因になることがあります。

●投入口の中に手を入れないでください。特にお子さまには注意してください。

粉砕部内のハンマーなどで、手にけがをする原因になることがあります。

●シンクに水をためているときは、絶対に運転しないでください。

本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちてけがをしたり流し台内部の破損・水漏れの原因になることがあります。

●シンクに、６０℃以上の湯を続けて流さないでください。

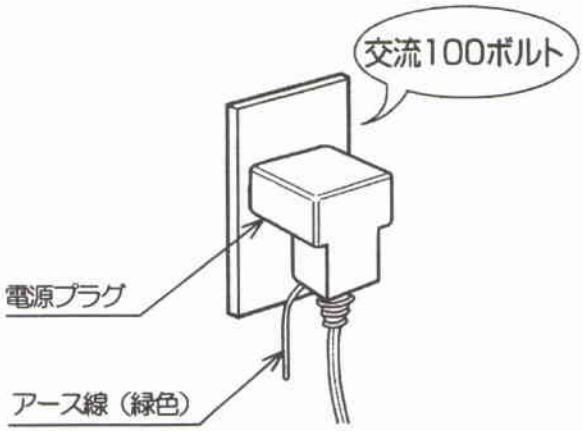
配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になることがあります。

# ご使用の前に

●アース線と電源の確認

アース線（緑色）がコンセントのアース端子に確実に接続されていることを確認してください。

電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。




## ⚠警告

タコ足配線は絶対にしないでください。

※他の器具を併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火の原因になることがあります。

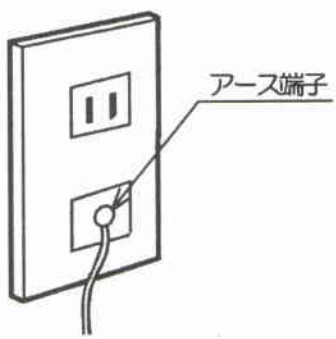
電源プラグにホコリや水滴などが付着していないか確認してください。

※感電や火災の原因になることがあります。

アース線を確実に取り付けてください。

※故障や漏電の時に感電する恐れがあります。

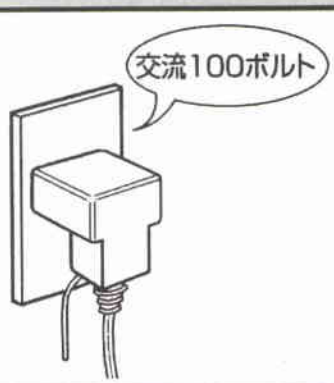
※アースの取り付けは、電気工事店にご相談ください。（D種接地工事）




## ⚠注意

交流１００V以外では使用しないでください。

※火災・感電の恐れがあります。

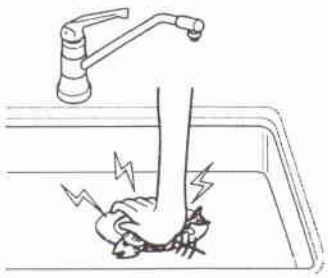


# 正しくお使いいただくために

## ⚠注意

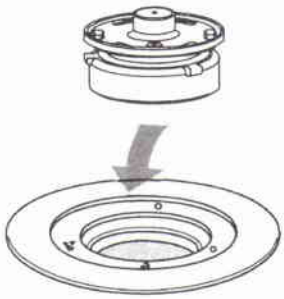
●生ごみは無理に押し込まないでください。

(悪い例)



・モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。
・ゴムブーツに傷がつき、水漏れの原因となることがあります。

●投入口にフタを必ず装着してください。



フタをON位置に装着しないとディスポーザーの起動ができません。
※フタの破損、紛失には十分注意してください。

●投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。

金属・プラスチック・陶器類

・熱湯
・熱い天ぷら油
・熱いカレー等の高温のもの
・多量の生クリームやマヨネーズ
・酸・アルカリ性洗剤
・薬品類（殺虫剤・除草剤など）

紙・木類　たばこの吸いがら
ラップ・ビニール・ゴム類など

・薬品類
（殺虫剤・除草剤など）

かたい生ごみや
強い繊維質のもの

サザエ・アワビ等の貝殻
かに類の殻・大きな魚の骨
多量の生米・調理前の固い餅
桃・柿などの硬い種
トウモロコシの皮・芯
タケノコ・タケノコの皮
生け花・多量の枝豆の皮
パイナップルの芯
バナナのヘタ・栗の皮
生魚の皮や生肉

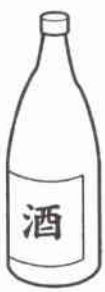
処理槽で正常な処理ができなくなります。また、故障や排水管詰まりの原因になることがあります。

●投入口に、次のような物を多量に入れないでください。食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

・サラダ油
・天ぷら油など

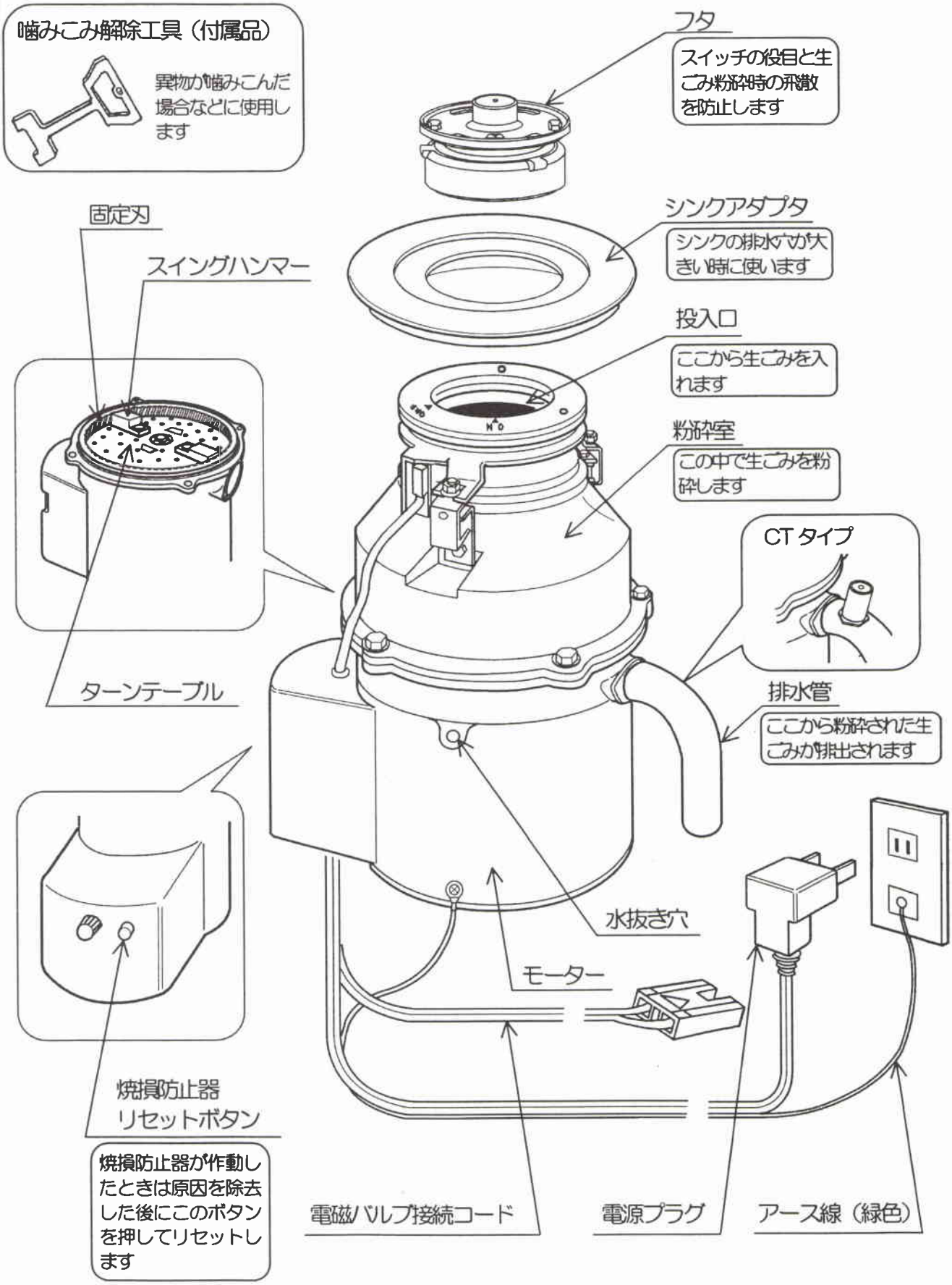
・台所用洗剤

・酒類




処理槽で正常な処理ができなくなる原因になることがあります。

# 各部の名称とはたらき


噛みこみ解除工具（付属品）
異物が噛みこんだ場合などに使用します
フタ
スイッチの役目と生ごみ粉砕時の飛散を防止します
シンクアダプタ
シンクの排水穴が大きい時に使います
投入口
ここから生ごみを入れます
粉砕室
この中で生ごみを粉砕します
CTタイプ
固定刃
スイングハンマー
ターンテーブル
排水管
ここから粉砕された生ごみが排出されます
水抜き穴
モーター
焼損防止器
リセットボタン
焼損防止器が作動したときは原因を除去した後にこのボタンを押してリセットします
電磁バルブ接続コード
電源プラグ
アース線（緑色）

# ご使用方法

## 1 生ごみを投入口から入れる

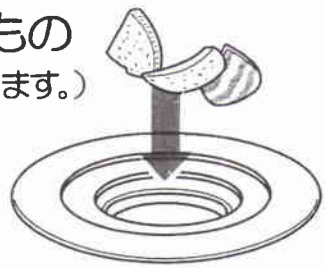
●１回の処理容量の目安は５００ｇぐらいまでです。
（粉砕しにくい生ごみは、１回の投入量を少なめにしてください。）

●次の生ごみは下記の要領で投入口に入れてください。

メロンの皮・スイカの皮・など、厚いもの
（投入口にひっかかったり、正常に粉砕できない恐れがあります。）

⇩

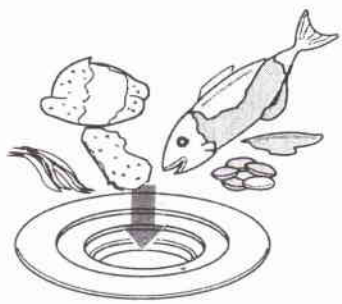
2～3cm 程度に刻んで投入してください。



生魚の皮・鳥の皮・大きな果実の種
など
（正常に粉砕できないことがあります。）

⇩

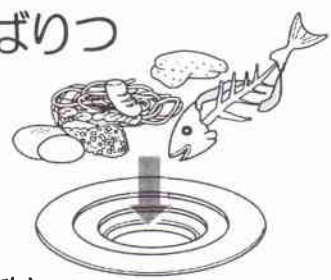
多量に投入しないでください。



ごはん・うどん・軟らかい餅など・ねばりつくもの・魚の生皮・鳥の生皮など、張り付くもの

⇩

少しずつ他の生ごみと混ぜて処理してください。

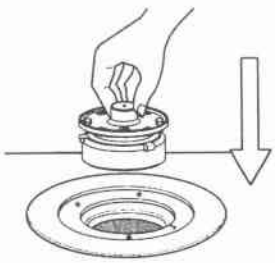


●下記の物は粉砕しないでください。

食品以外のもの・サザエ・アワビなどの貝殻・トウモロコシの皮、芯・タケノコ、栗、多量の枝豆の皮・生け花・調理前の硬い餅・パイナップルの芯は投入しないでください。（５ページ参照）

# ご使用方法（つづき）

## 2 フタの▲マークを投入口のＯＦＦ位置に合わせはめ込んでください。



**⚠注意**

水栓を全開で使用している状態と同時におこなわないでください。

水はけが悪くなり、シンクに水がたまる原因になることがあります。

## 3 フタを回転させ▲マークをON位置に合わせてください。

水が自動で流れた後、しばらくしてから粉砕がはじまります。

- ほとんどの生ごみは１分以内で粉砕が可能です。詳細は、次ページの『運転回数（時間）の目安』を参考に運転してください。
- 運転を途中で止めるときは、フタの▲マークをOFF 位置に合わせてください。
- 電源の切り忘れによる過熱防止と省エネのため、ディスポーザーは約１分で電源が切れるようにタイマーを内蔵しています。

**⚠警告**

粉砕音がする間は、フタを抜かないでください。

粉砕物が飛び出してケガの原因になることがあります。

**⚠注意**

- フタには磁石が内蔵されています。フロッピーディスク・時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないでください。
- 金属がついた場合はきれいに取り除いてください。

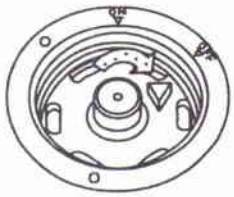
# ご使用方法（つづき）

## 4 粉砕が終わったら

※運転中に粉砕の音が小さくなったら、粉砕は終わっています。

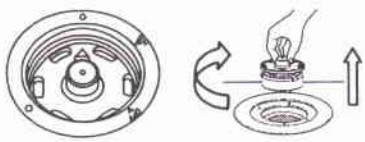
ディスポーザー停止後、しばらくしてから水が止まります。

- ●ディスポーザーの運転時間は、１回で約１分運転して自動停止します。
- ●粉砕が終わったらフタの▲マークをＯＦＦ位置に合わせてください。



## 5 ディスポーザーを使用しない時

※ディスポーザーを使用しない場合は、フタの▲マークを○マークの位置に合わせておいてください。
（誤ってフタを回転させても、運転しません。）



運転回数（時間）の目安　※投入量約５００ｇのときの目安です.

| 生ごみの種類 | | 回数（時間） |
|---|---|---|
| やわらかいもの | ごはん・果物・野菜など | 1回（約３０秒～１分） |
| かたいもの | 鳥ガラ・魚の骨・野菜の種など | 2回（約１分３０秒） |
| 粉砕しにくいもの | たくあん・だし昆布・お茶の葉など | 2回（約1分30秒） |
| | ナスやピーマンなどのヘタなど | 2回（約2分） |
| | カボチャの種・玉ねぎの皮・スルメなど | 3回（約3分） |

- ●かたいものや、軽いもの（お茶の葉など）は、ほかの生ごみと混ぜると処理しやすくなります。
- ●運転後、粉砕部に生ごみが残っている場合は、一旦フタの▲マークを「OFF 位置」にした後、再び「ON 位置」にします。
- ●運転の繰り返しを5分（5回）をこえておこなわないでください。モーターが過熱し、故障の原因になります。（３０分程度待ってからお使いください。）

## 6 シンクに水をためるときは

- ●シンクに水をためるには投入口に止水フタを使用してください。尚、止水フタは付属しておりません。購入を希望される場合は弊社又は販売店に依頼していただくか、ホームセンター等でも購入できます。

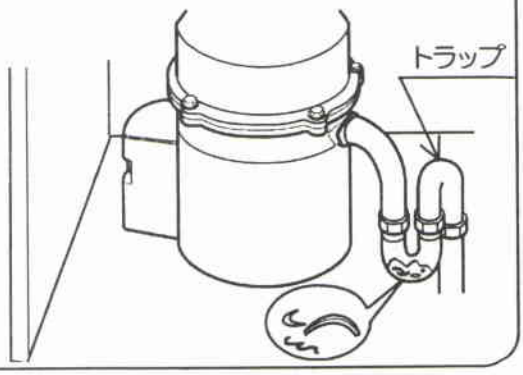
※シンクに水をためているときは、絶対に運転しないでください。（Ｐ３参照）

# トラブル解決方法

## ディスポーザーに投入しないでください（P5参照）

●生け花の茎、トウモロコシ、タケノコの皮等の繊維部分は本機の噛みこみの原因や、繊維が長く強いのでトラップが詰まる原因になります。

●プラスチック類・スプーン・フォークなどはディスポーザー破損の原因になります。



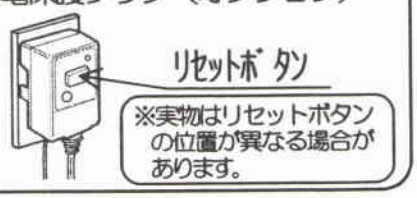

## フタを入れたがモーター音がせず、ディスポーザーも動かない場合

①フタの▲マークが正しくON位置に合っているか、確認してください。
②運転中に停電・雷等で停止した後、動かない場合は一度フタの▲マークをＯＦＦ位置にしてからON位置にしてください。
③本体の側面にあるリセットボタンを押し込みます。
※リセットボタンを押し込めない場合は、モーターの過熱が考えられます。
モーターが冷えるの待って（３０分程度）再度スイッチを入れてください。

本体が高温になっている場合がありますので本体に触れないようにしてください。

※漏電保護プラグ付きの場合
漏電表示ランプが点灯していない事を確認してください。（点灯している場合は、リセットボタンを押してください。）

漏電保護プラグ（オプション）




それでも直らない場合は、工事店又は販売店にご相談ください。

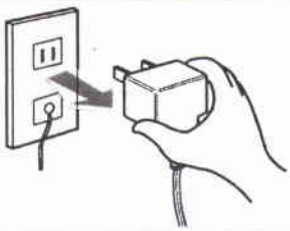
※「フタの▲マークをON位置に合わせても水が自動で流れない」、「ディスポーザー停止後、しばらくしても水が自動で止まらない。（水が流れたまま）」等の症状がある場合は、給水管の止水栓を閉めて水が止まるのを確認した後、本体に明記している相談窓口か緊急連絡先へご相談ください。

# 異物が噛みこんだ場合の復旧方法

※噛みこみ停止は本体故障ではありません。
異物が噛みこむとモーターを保護する安全機構が作動して自動停止します。

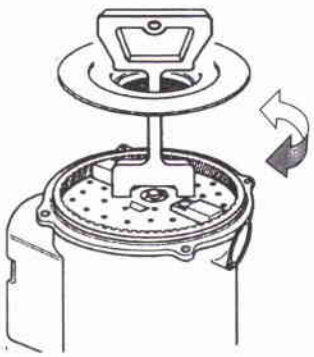
1. フタの▲マークをＯＦＦ位置に合わせる。
モーターが完全に停止したのを確かめてから
フタを投入口から外してください。

2. 電源プラグを手で持ってコンセントから抜きます。

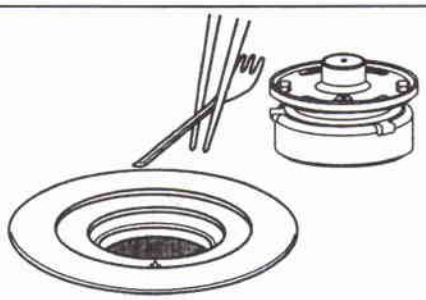


3. 『噛みこみ解除工具』を使用し、取り除いてください。

（詳細は１２ページ噛みこみ解除工具の使用方法による）

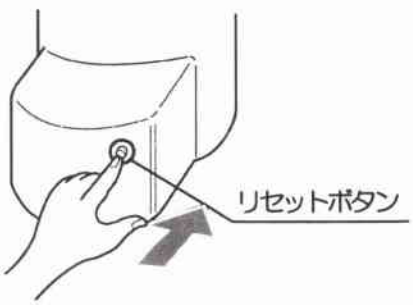


4. 噛みこんでいたものを、菜箸などで取り出してください。

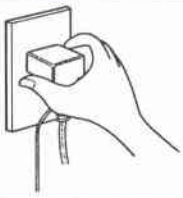


5. 本体の側面にあるリセットボタンを押し込みます。

※リセットボタンを押し込めない場合は、すでに押し込まれた状態ですのでそのままにします。




6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

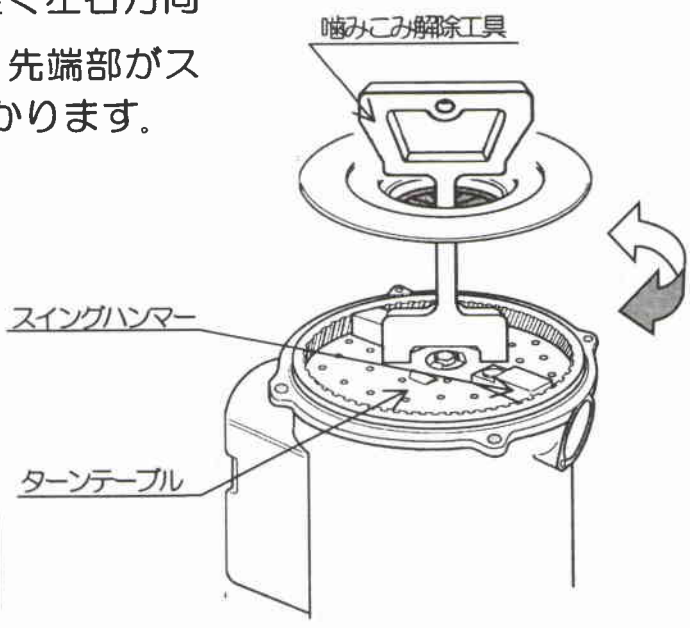


# 噛みこみ解除工具の使用方法

作業は、コンセントから電源プラグを抜いて、運転が止まっていることを確認してからおこなってください。（１１ページ参照）

1. 投入口の中央より垂直に『噛みこみ解除工具』をターンテーブルに当たるまでおろします。

2. 『噛みこみ解除工具』を軽く左右方向いずれかに回転させると、先端部がスイングハンマーに引っかかります。




スイングハンマーに引っかけた状態で強く回してください。

（かたい場合は、同じ要領で反対方向に回してください。）

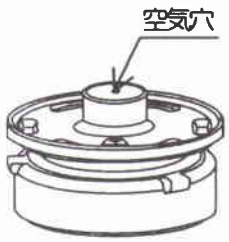
3. ターンテーブルが左右方向に動くことを確認し『噛みこみ解除工具』を投入口より抜いてください。

# お手入れ方法

## ●フタ

スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
特にフタ裏側には、粉砕された生ごみが付着している場合があります。
フタの空気穴にごみ等が詰まっている場合は、つまようじ等の細い物でついてください。

※空気穴が詰まっていると排水が悪くなる恐れがあります。




## ●粉砕室

週に１回程度、角氷を粉砕室に半分程度投入して、水を流しながら運転してください。細かなカスが取り除かれます。
粉砕しきれなかった生ごみがたまっている場合は『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』（１１ページ）の1．2．項目の手順で、電源プラグをコンセントから抜いてから、残っている生ごみを菜箸などで取り出してください。残っている生ごみを取り出し後は、『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』（１１ページ）の6．項目の手順で電源プラグをコンセントに差し込んでください。

**ニオイが気になる場合**は、生ごみを入れずに小指ほどの太さの水を流しながら、約１分間運転してください。

洗剤などは使用しないでください。

※金属部分が腐食されたり、処理槽で正常な処理ができなくなる原因となります。

## ●本体・電源プラグ・コード類・排出管

クレンザー・シンナー・ベンゼン・アルコール・灯油などを使わず、柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か中性石鹸水を含ませ、かたくしぼってお使いください。

**⚠注意**

運転直後は、本体が高温になっているため、本体に触れないようにしてください。
やけどの原因になることがあります。

# こんなときは／故障かなと思ったら

| 【症状】 | 【原因】 | 【処置】 |
|---|---|---|
| スムーズに排水されない。 | 粉砕室内の排水穴がつまっている。 | 生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返します。 |
| ディスポーザーは起動するが水が出ない。 | 給水管の止水栓が閉まっている。 | 給水管の止水栓を開いてください。 |
| | ヒューズが切れている。 | 工事店に、点検・修理を依頼してください。（10ページ参照） |
| ディスポーザー停止後、しばらくしても水が止まらない。 | 水栓を使用している。 | 水栓を止めてください。 |
| | 自動給水バルブ内に異物が入っている。 | 給水管の止水栓を閉めて、工事店に点検・修理を依頼してください。（10ページ参照） |
| 起動しない。 | 電源プラグがコンセントに差し込まれていない。 | 電源プラグを、コンセントに確実に差し込みます。 |
| | 投入口に専用フタが取り付けられていない。 | 専用フタを使用し、フタの▲マークを投入口のON位置に合わせてください。 |
| | 本体のリセットボタンが働いている。 | 本体の側面にある赤色のリセットボタンを押します。手応えがない場合は、モーターが冷えるのを待ってもう一度押します。 |
| | 落雷等により、運転中に停止した。 | フタの▲マークを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせてください。 |
| | 漏電保護プラグ（オプション）が働いている。 | 漏電保護プラグのリセットボタンを押してください。（10ページ参照） |
| うなり音はするが起動しない。 | 粉砕室に異物が噛みこんでいる。 | 『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』を参照してください。（11ページ参照） |
| 運転中、大きな音・振動がする。 | スプーン等の金属やプラスチック片などの異物が混入しています。 | 電源プラグをコンセントから抜いて、菜箸などで異物を取り出してください。 |
| モーターは回るが粉砕しない。 | 粉砕室に大きな生ごみが残っている。 | 『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』を参照してください。（11ページ参照） |
| | 粉砕室に処理できない物が滞留している。 | |
| | スイングハンマーが動かない。 | |
| 水漏れする。 | シンク接続部が緩んで漏水している。 | 工事店に、点検・修理を依頼してください。 |
| | ゴムコネクタ部が緩んで漏水している。 | |
| | 排水管部が緩んで漏水している。 | |
| | モーター部（水抜き穴）から漏水している（6ページ参照） | オイルシールが磨耗していますので工事店に、点検・交換を依頼してください。 |

上記の表に従って調べて下さい。異常な症状が直らない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、工事店又は販売店へご相談ください。

# 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 1. | 使用可能水温 …… | 0℃～40℃ |
| 2. | 定格周波数 …… | 50Hz／60Hz |
| 3. | 電源容量 …… | 15A |
| 4. | 定格電圧 …… | AC100V |
| 5. | 電動機形式 …… | コンデンサ運転式単相誘導電動機 |
| 6. | 極数・定格出力 …… | 4極・200W |
| 7. | 定格消費電力 …… | 330W／400W（50Hz／60Hz） |
| 8. | 連続運転時間 …… | 5分（電子タイマー制御による1分間の自動停止機能付き） |
| 9. | 粉砕部容量 …… | 約1．5ℓ（1回あたりの処理容量：約500g） |
| 10. | 外形寸法 …… | 幅186mm×奥行き270mm×高さ342mm |
| 11. | 質量 …… | 9kg |
| 12. | 安全装置 …… | 焼損防止器・サーマルプロテクター |
| 13. | 電源コード …… | 長さ約1m |
| 14. | アース線 …… | 長さ約1m、緑色 |
| 15. | 排水管 …… | 排水口φ38 |

# 保証について

## 保証書

※必ず記入の有無をご確認ください。もし記入のない場合は、販売店にお申し出ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 型式 | | 製造番号 | |
| お引渡し日 | | 保証期間 | 1カ年（お引渡し日から） |
| お客様 | ご住所 | 〒　TEL | |
| | お名前 | 様 | |
| 販売店 | 住所・店名 | TEL | |

**無料修理規定（保証規定）**

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に発生した故障については無償で修理または交換を致します。
2. 保証期間内であっても、次のような場合は有償修理とさせて頂きます。
   ① 使用上の誤りによる故障、破損
   ② 不当な改造または、修理により発生した故障、破損
   ③ 施工上の不備による故障、破損
   ④ 火災、天災地震等の災害及び不可抗力による故障、破損
   ⑤ お引渡し日・お客様・販売店に記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 当社ディスポーザーの故障による他の部分の不具合等につきましては保証致しかねます。
4. 噛みこみ、つまりに伴う技術員の派遣費用、修理は有償とさせて頂きます。
5. 不具合の原因が不明な場合は、別途協議させて頂きます。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

Yasunaga

**安永エアポンプ株式会社**

本社　〒104－0031　東京都中央区京橋1-4-13 セントラル京橋ビル4F
TEL 03－5200－2757　FAX 03－5200－0225
名張事業所　〒518－0444　三重県名張市箕曲中村920
TEL 0595－64－0411　FAX 0595－64－4165
緊急連絡先　TEL 0595－63－2631

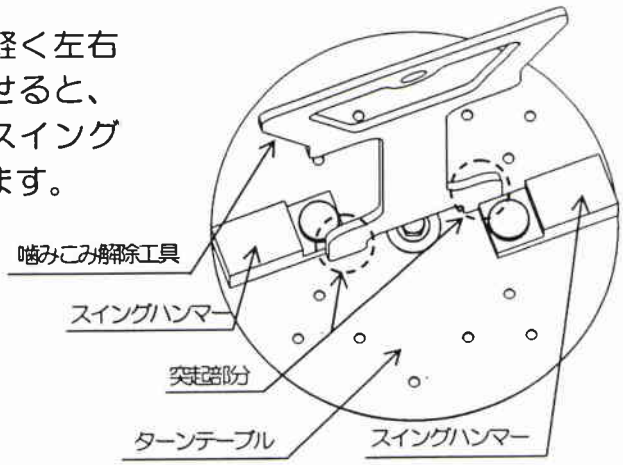
872YD200BAMJ　'05. 04

# 噛みこみ解除工具の使用方法

作業は、コンセントから電源プラグを抜いて、運転が止まっていることを確認してからおこなってください。

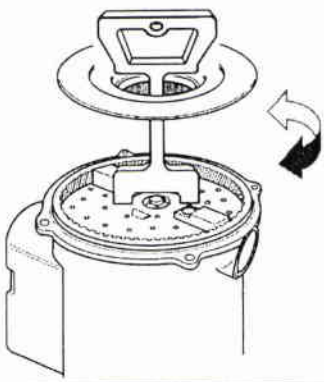
1. 投入口の中央より垂直に『噛みこみ解除工具』をターンテーブルに当たるまで挿入します。

2. 『噛みこみ解除工具』を軽く左右方向いずれかに回転させると、突起部分が本体内部のスイングハンマーに引っかかります。




スイングハンマーに引っかけた状態で強く回してください。

（かたい場合は、同じ要領で反対方向に回してください。）



3. ターンテーブルが左右方向に動くことを確認し『噛みこみ解除工具』を投入口より抜いてください。

# 本社移転のお知らせ

弊社製品をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

さて、この度弊社は本社を東京都中央区から東京都墨田区へ移転し、
2007年4月1日から業務を開始することになりましたので
お知らせ致します。

2007年4月1日以降のお問い合わせにつきましては、
以下の連絡先までお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

【新住所】　〒130-0014 東京都墨田区亀沢三丁目4-1

【電話番号】　03-3621-3317

【FAX番号】　03-3625-8108

【業務開始日】　2007年4月1日

安永エアポンプ株式会社

# ディスポーザーのトラブル解決方法

## ◆スイッチを入れるとモータ音はするが、ディスポーザーが動かない場合

1. フタスイッチを投入口から外してください。

   モータが完全に停止したのを確かめてください。

2. 電源プラグを手で持ってコンセントから抜きます。

3. 『噛みこみ解除工具』を使用し、取り除いてください。

   （詳細は、取り扱い説明書１２ページ噛みこみ解除工具使用方法による）

4. 噛みこんでいたものを、菜箸などで取り出してください。

5. 本体側面にあるリセットボタンを押し込みます。

   ※リセットボタンを押し込めない場合は、すでに押しこまれた状態ですので、そのままにします。

6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

## ◆スイッチを入れたがモータ音がせず、ディスポーザーも動かない場合

本体側面にあるリセットボタンを押し込みます。

※リセットボタンを押し込めない場合は、すでに押し込まれた状態ですのでそのままにします。

## ◆噛みこみ解除工具の保管について

噛みこみ解除工具

噛みこみ解除工具はすぐに取り出せるところ、またはディスポーザー本体の近くに保管してください。

Yasunaga 安永エアポンプ株式会社

ディスポーザー本体緊急連絡先
TEL 0595－63－2631

# ディスポーザー使用上のお願い

Yasunaga

ご使用になる前に取扱説明書をよくお読みください。

■生ごみは無理に押し込まないでください。

■粉砕時には小指の太さ程度の水を流してください。（水量が少ないと配管が詰まることがあります。）

■異物が噛みこんだ時は電源プラグを抜き「噛みこみ解除工具」を使用し、取り除いてください。

■下記のものは投入しないでください。

●金属、プラスチック、陶器類　●ラップ、トレー、ビニール、ゴム類　●多量のサラダ油、天ぷら油類

●紙、木類、たばこの吸いガラ　●サザエ、アワビなどの貝殻　●多量の洗剤、薬品、酒類

●トウモロコシの皮、タケノコの皮、生け花、多量の枝豆の皮、栗の皮

●トウモロコシの芯、パイナップルの芯、調理前の硬い餅

862YD250BCTCL1